

令和4年12月26日
海事局船員政策課**「漁業（かつお・まぐろ）最低賃金」を決定しました
～遠洋かつお、近海かつお・まぐろにも最低賃金が拡大～**

最低賃金法に基づき、交通政策審議会の調査審議を経た上で、国土交通大臣が「漁業（かつお・まぐろ）最低賃金」を決定しました。

従来の「漁業（遠洋まぐろ）最低賃金」を改正して対象業種を拡大するとともに、最低賃金額を月額199,300円とすることを決定し、本日官報に公示したものです。効力発生は令和5年1月25日となります。

1. 背景・経緯

○平成27年以降、交通政策審議会において、漁業に関する特定最低賃金の拡大について断続的に審議していたところ、今般、従前の「漁業（遠洋まぐろ）最低賃金」について、遠洋かつお漁業及び近海かつお・まぐろ漁業を含む業種へ拡大した上で、「漁業（かつお・まぐろ）最低賃金」と改正し、最低賃金額を月額199,300円とするとの結論を得ました。

○交通政策審議会の意見の要旨を官報に公示したところ、期限までに異議申出がなかったことから、改正を決定し、本日、決定内容等を官報に公示しました。

2. 決定内容（詳しくは別紙の公示文を参照）**●適用する使用者・船員**

船員法第1条に規定する船舶であって、かつお・まぐろ漁業（漁業の許可及び取締り等に関する省令第2条第12号に掲げる漁業をいう。）の用に供する漁船の船舶所有者及びその船舶所有者に雇用されている船員であって、同船舶に乗り組む者

●最低賃金額（月額）

1人歩船員 199,300円

近海かつお

近海まぐろ

遠洋かつお

遠洋まぐろ

遠洋まぐろ

3. 効力発生日

令和5年1月25日

【問い合わせ先】

海事局船員政策課 伊藤、平野

(代表) 03-5253-8111 (内線 45-145、45-146)

(直通) 03-5253-8652 (FAX) 03-5253-1643



漁業（かつお・まぐろ）最低賃金

令和4年12月26日 令和4年国土交通省最低賃金公示第4号

1 適用する地域

全国

2 適用する使用者

船員法（昭和22年法律第100号）第1条に規定する船舶であって、かつお・まぐろ漁業（漁業の許可及び取締り等に関する省令（昭和38年農林省令第5号）第2条第12号に掲げる漁業をいう。）の用に供する漁船の船舶所有者（船員法第5条の規定に基づき、船舶所有者に関する規定の適用を受ける者を含む。）

3 適用する船員

前項の使用者に雇用されている船員であって、同項の船舶に乗り組む者。ただし、見習い、未経験又は年少などの理由により第5項に掲げる1人歩船員に達しないとみなされる船員は、除くものとする。

4 適用する期間

かつお・まぐろ漁業に係る雇入契約期間とする。ただし、雇入契約において報酬の一部又は全部が歩合によって支払われる船員については、その歩合給の算定の基礎となる期間とする。

5 第3項の船員に係る最低賃金額

月額 1人歩船員

199,300円

(月払いとする)

この場合において、1人歩船員とは、雇入契約において報酬の一部又は全部が歩合によって支払われる場合に、歩合給の算定に当たって、1人歩、1人代その他名称の如何を問わず基準となる配分単位1単位を有すると認められる船員又はこれと同程度の船員をいうものとする。

6 最低賃金に算入しない賃金

- (1) 通常の労働日以外の日の労働及び通常の労働時間を超えた時間の労働に対し支払われる割増手当
- (2) 通常の労働以外の臨時的に行う労働に対し支払われている作業手当、欠員手当など
- (3) 予期していない事由に基づき支払われる災害の場合の一時金及び支給条件はあらかじめ確定されているが、支給事由の発生が不確定であり、かつ、まれに支払われる結婚手当、退職手当など
- (4) 1か月を超える期間ごとに支払われる夏期・年末手当、賞与、その他これに準ずる賃金
- (5) 通勤手当及び実費弁償として支払われる交通費、旅費、その他これに類するもの

附 則（令和4年国土交通省最低賃金公示第4号）

この公示は、令和5年1月25日から効力を生ずる。